

会議録（要旨）

【開催概要】

会議名称	第18回泉大津市子ども・子育て会議
開催日時	令和2年8月3日（月）10：00
開催場所	旭幼稚園 2階 リズム室
出席委員 （名簿順表記）	長瀬委員（会長）・久委員（副会長）・川西委員・村田委員・大橋委員 萩上委員・澤田委員・伊藤委員・亀谷委員・松田委員・田中委員 能勢山委員・平委員・秦委員 （計14名）
欠席委員	納谷委員
事務局	丸山教育部長、川口健康福祉部長、藤原健康こども政策統括監、堀田子育て 応援課長、里見こども育成課長、深澤障がい福祉課長、金原指導課長、 内田教育政策課長、参上こども育成課長補佐、小島こども育成課長補佐、 子育て応援課：谷本、竹村
会議次第	1. 開会 2. 案件 （1）泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）について （2）その他 3. 閉会
配付資料	泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）
公開／非公開	公開
傍聴者	3名
その他の必要な事項	なし

【議事要旨】

	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none">・会議成立要件の確認（委員 15 名中 14 名が出席のため成立）
	<p>2. 案件</p> <p>(1) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画（案）について</p>
事務局	●資料に基づき説明（こども育成課）
会長	◇この件についてのご意見やご質問をいただきたいと思います。
委員	◇戎保育所に2度説明に行かれたと聞きましたが、そのときに0歳児の保護者はいましたか。
事務局	●最初、全体に説明させていただいた時に0歳児の保護者もおられました。その後、個別で話をされたいという方から連絡をいただいて、0歳児の保護者とも2名それぞれ1回ずつ話をさせていただきました。
委員	◇その時の保護者の反応はどうでしたか。
事務局	●市としての全体的な計画であるということは説明させてもらって、理解しましたということだったんですが、個人的な部分では、まだすっきりして納得したということではないです。10月の半ば頃からまた来年度の申込が始まりますので、その時期までにまた話し合いを進めさせてもらってということに現状ではなっています。
委員	◇公立全園の保護者の代表が集まる機会があつて、そこでお話しさせてもらったんですが、不安と驚きがあつて、いつ説明がされるんだろうということでした。戎保育所には説明に行っていたということ、そこは感謝していました。それでもまだ不安が大きいということと、戎保育所を急いでいいのか、児童発達支援センターが早くほしいから戎保育所をつぶしたいのかという声が大きかったです。でも、絶対そうじゃないと思うし、児童発達支援センターの必要性が伝わってないのかなと感じました。急いでるのなら、なぜ急いでるのかというところをしっかりと伝えてあげないと納得できないと思います。小さな保育所でも、そこにいるひとりひとりの思いの大きさは同じです。市も考えてくれているのに、その思いが伝わってないのはもったいないと感じました。他の園の保護者も、いつ説明に来るんだろうと不安に思っているのです、具体的なスケジュールがあるのなら教えてほしいです。

事務局	<p>●今この会議で議論していただいていると思っておりますので、その中で、どうしても来年度の申込みということで支障が出てくるところには、まずご説明させていただいたという認識です。今後についても、ここで計画が決定しましたら、順番に説明をさせていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>◇できるだけ早急に説明をしてほしいと思いますし、保護者だけでなく先生方も不安がいっぱいあると思います。公立と民間の違いをわかってない保護者の方もいっぱいいたので、そこもわかりやすく説明してほしいなと思いますのでお願いします。</p>
会長	<p>◇今の発言を聞いて、例えばですけど戎小学校区の3行目「また」から「踏まえ」を後ろへまわして、「新規入所の募集を行わず」の後に「在園児の成長に支障がないように相談しながら進める」と書いてから、そのうえで、ニーズの高い児童発達支援センターへの転用を考える。先に戎保育所をきちんとしてからですよという方法もあるのかなと。文字の書きぶりで伝わっていないのであれば、そういう伝えの方が誠実でいいのかなと思いました。</p>
委員	<p>◇丁寧な説明と言うのは何をやるにしても必要なことで大事なかなと思います。丁寧な説明をすることできっとご理解いただけるものだとは私はその思います。今回の計画についても、すごく丁寧な説明になって、前の会議で出たストーリー性を意識した流れになっていると思います。前回の意見が反映されているなど強く感じます。それと、1期、2期、3期と時期を示して書いてあるというのは一番わかりやすいと思いました。うまくまとめてもらって、われわれの思いがこの1冊に凝縮されて大変ありがたいなと感じます。</p>
委員	<p>◇児童発達支援センターのことがさらっと書いてあるのがもったいないなと思っています。市としてもすごいことであって、多くの方が喜ばれる、安心されることです。支援が必要な子どもは13人に1人ぐらいいると言われていて、年々増えているなど現場でも実感されていると思います。この計画でも、児童発達支援センターというのはお子さんにこんな支援ができます、保護者が発達に不安を感じていてもそこに通わせたら安心できます、というメリットになるような言い方が出ている方がいいのにもったいないなと思います。先ほどの不安の声も、説明が不十分なのかなという気がしました。</p>
委員	<p>◇泉大津は発達支援に関してはすごく熱心に取り組んでくださっているのでも感謝しています。児童発達支援センターができることは、すごくニーズも高いですし、たくさんの保護者が喜ぶのは理解していますが、センターができることによって他市の民間施設に通っていた方が通えなくなるんじゃないかという不安が絶対に出ると思います。他市でセンターができた時もそうい</p>

<p>委員</p>	<p>う事例がありました。急務ではあるけれど丁寧に取り組んでいただきたいのは切に感じていまして、センターができるのは大変嬉しいことではあるんですが、その先の不安というもので私たちには見えてしまいます。この計画に児童発達支援センターという文言が載るのであれば、丁寧に考えたうえで載せていただきたいと考えていますのでよろしくお願いします。</p> <p>◇障害をもっているお子さんが通う施設で児童発達支援センターも大切なんですけど、日々通っている保育所、こども園、幼稚園が基盤になると思います。その中で、公立とは共有できるんですが民間とは壁を感じます。現場でも気になる子どもさんが多くて、児童発達支援を使うほどでもなかったり、親御さんが気付いてないこともあります。子どもひとりひとりの気になるところをみんなで共有できてというところは、私の中では公立の方ができているイメージがあって、すごく感謝しています。これから民間になった時、そこをどうしていくのかというのが出てくると思うんです。私が今関わっている中でも、遠くても公立に通わせたいという保護者がいっぱいいます。公立だから受け止めてもらっていたのが、民間になったらもしかしたら排除されるんじゃないかといった不安があるみたいです。公立に通っている保護者で、小さな頃から人にわかりにくい障がいをもっている、市役所、先生が配慮して関わってくれて、小学校に行っても共有されていて、ありがたいと言っている人もいます。そういう泉大津の良さをそのままやっていただきたいので、共有というのをもっとやっていっていただきたいなと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>◇これは公共施設再編の計画なので、それはもう少し表に出しておくべきじゃないか。保育所、幼稚園だけじゃなくて、すべての公共施設が本当に今までの規模、配置でいいんだろうかということを見直していますので、そこをもう一度共有しておいた方がいいのではないかと思います。人口全体が減っていった中で、一番人口が多いときの施設の量を今作ってますので、今後人口が減っていく中で本当に適切な規模に小さくしていかないといけない。じゃあ、どうやって小さくしていくのかというところで、適切な施設規模をサービスの質を落とさないでどう実現していくのかということをお皆さんと一緒に考えさせていただいたと、もう少しきちんと説明しておいた方がいいんじゃないかということをお事務局にお届けさせていただきました。私はもともとの専門が都市計画で、いろんなものを変えていくということをやってきました。その時にやはり同じように、変わる不安ということに対してのいろんな意見が出てきます。そこをなんとか皆さんにご納得いただいて動かすというのが私の本来の仕事でありまして、丁寧さというのは痛いほど経験させてもらっています。旭小学校の校舎建替えの時に、地域の方が使われる部屋ができました。何度もワークショップで意見交換をさせていただいて今の設計に至ってますし、まちづくり協議会が旭小学校区で</p>

	<p>泉大津市第1号でできあがりしました。自治会、PTA、老人会、民生委員・児童委員さんなど様々な方々が活動をしているが、もっと横連携を図って活動していこうという形で立ち上がっています。それに3年かかっています。何度も膝を突き合わせて、どういう形で動いていったら一番地域活動が良くなるんだろうかということで、私も入らせてもらって3年間議論を重ねてきて、ようやくこの4月にまちづくり協議会が立ち上がったということです。だから、今回も何度も何度も足を運んでいただいて、ご納得いただけるまで膝を突き合わせて話をさせていただきたいと思います。ひとつ難しい問題は、どのタイミングでやるのかということです。そのタイミングに引っかかった当事者はなんで私の時に、あと3年ずれていたらうちの子ともじゃなかったのとなるし、3年後にやっても別の方で同じことが起こる。どこかのタイミングで我慢していただかないといけない方が出てきてしまう。一部の方に我慢してもらおうということだからこそ十分な説明をしていただいて、安心していただく。私は、反対というのは本当は反対ではないと思っています。不安なんだろうと思うんです。将来への不安が反対という声に置き換わっているだけなので、本当はやってみたらやってみたでそっちの方向が良かったんじゃないかという声は、私の経験からも何度もいただいていますので、まずは不安を一緒に共有して、それをどうやって市と一緒に歩むことで取り除けるかというところで、やはり時間をかけて、何十回と足を運ばないといけないこともあるかと思いますが、その辺りのきめ細やかさをぜひともやっていただきたいし、やればやるほど不安は解消の方向に向かうと思います。時間や回数が解決してくれるというところもありますので、念を押してお願しておきたいと思います。</p>
会長	<p>◇今回まとめの会議になりますので、ご意見を出しておいていただければと思いますが、他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>◇保護者にどれだけ熱量が伝わるかということが非常に大事だと思います。今回の件についても、突然降ってわいて出たような話ではなくて、かなり前から市役所や教育委員会の中でも考えられていたことです。ところがこの計画を見せてもらった時に、その部分に私は魅力を感じなかった。泉大津では、認定こども園に移行していくことが大事だということで、国の基準より1年前に全国に先駆けて作りました。それは何のためかということ、子どものため、保護者のためです。さらに、今は園区がはずれていますが、これも住所より職場に近い方がいいという考えもある保護者の利便性で、泉大津は先駆けて取り組んできた。さらに、大学の先生に入ってもらって、小学校との接続では当時からアプローチカリキュラムに取り組み、発達ではずっと研修を重ねてきた。それで、マスコミなどにも泉大津市は好事例として取り上げられた。その中で職員も非常に大変だったが、認定こども園の次のグランドデザイン</p>

	<p>を示せるというところまで来たんだというようなことをしっかり書き込んでおくべきだと思います。今後、泉大津の就学前を進めていくに当たっては、市としては4園のこども園が適正と判断している。でも、私立の認定こども園とともに手を携えてやっていくんだということをしっかり書いておくと、保護者の方に安心してもらえるのかなと思います。その辺りの表現をもう少し工夫されたらと思います。研修をともにやっていくんだとか、長く勤めてもらえるような仕組みをこうやって作っていくんだとか、発達や小学校の接続は官民で一緒にやっていくんだとか、そういう長期的なグランドデザインを書いていかないと。こんな思いで市、教育委員会はやってきたということを書いても決して悪くはないんじゃないかなと思います。自己宣伝しているようですが、情報発信の仕方がもっとアピールしてもいいんじゃないかなと思います。</p>
事務局	<p>●これまでずっと、いろんな課題を教育委員会と福祉部ともに乗り越えてきた経緯があります。その辺りのことについては、この前に策定をしました基本計画のところで記載させていただいたつもりです。詳しい具体的なところは読み取りづらいかもしれませんが、これまでの教育・保育を大事にしていきたいという思いと、どう変えていかないといけないかということの基本計画の方でお伝えし、その実施のための計画を策定しています。</p>
委員	<p>◇浜小学校区が民間1園になりますが、負担が大きいんじゃないかという不安があって、説明に行っても1番に聞かれることだと思います。先生の体制も大きく変わるんですね。その辺りがたぶんわかってないので、変わらないならそう説明してあげてほしいです。丁寧に説明してあげてほしいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>◇この会議でいつも感じるところは、民間はいいところがなくて責められるばかりだなと思ったりします。民間も頑張っているところが伝わっていないのが残念だなと思います。児童発達支援センターも待ち望んでいる施設ができると楽しみにしていますが、市の家庭教育支援チームの方も絡んで、教育委員会ともうまく連携できたらいいかなと思っています。</p>
会長	<p>◇実際に現状でも民間の認定こども園でたくさんのお子さんたちを健全に育成していただいていますし、民間の保育士さんがそれぞれキャリアアップもされて研修を受けていただいているのもよく存じ上げています。なかなか伝わっていない部分がありますので、民間の法人、職員の努力もお伝えしていただきながら、民間認定こども園で安心して保育を受けていただけるようにということは、行政としても取り組んでもらう。知らないことによる不安というものは、できるだけ解消する方向だと思います。</p>

委員	<p>◇9ページの②のところで、「限られた数の職員を集約でき」とありますが、どういう意図なのかなと思います。民間であれ公立であれ、認定こども園化を進めていくのであれば、新たな取組みを進めるには保護者と同じで職員も不安に感じることはあります。園が大きくなって子どもの数が増えれば、園児や保護者に対する理解をひとりひとりの職員が深めていくには、職員の人数が多くなると難しい部分があります。職員が多くなると職員間の情報共有が難しくなるので、そういう意味で「限られた職員」と書いてあるのかなと思うんですけど、その辺が知りたいところです。</p>
事務局	<p>●6ページで「保育士不足、管理職の担い手不足」を抱える課題としています。特に「管理職の担い手不足」については、現状では年齢と経験というところで5ページのグラフにもありますように、「限られた職員」という現状になってしまっています。園所の数が減ることによって、子どもを受け入れるのに必ず必要になる園長、副園長などの管理職を集約して配置できるということで「限られた数を集約」と入れさせていただいています。決して今後職員採用をしないとか、そういうことではありません。</p>
会長	<p>◇本当にその通りなんですけど、読み手によっては人が少なくて済むというような読み取り方をされるといけないので、今ご説明があったとおり、市で現有する人材を適正に、有効に配置することができるというような形にさせていただくと、言葉が独り歩きしなくて済むのかもしれないので、表現をまた考えていただければと思います。</p> <p>◇この先の話になりますが、軽微な表現の修正については会長へ一任していただくんですけど、他の点も出させていただいて、持ち帰らないといけないものについてはまたご相談させていただきます。</p>
委員	<p>◇9ページ③の「公立園は全体の指標となり」という部分なんですけど、これを読んでいるとなんとなく公立の方が民間より立場が上のような感じで読めてしまうというか、そこがちょっと引っかかりました。</p>
事務局	<p>●そのように見えて、こちらの意図しているところが伝わっていないということであれば、書き方について検討しないといけないかなとは考えます。決して上からということではなく、民間さんとともに進んでいくということは今回の計画でも出していくつもりです。</p>
会長	<p>◇公立には公立、民間には民間の役割があって、それぞれが補完し合うということが趣旨ですので、そこが伝わるようにまた考えたいと思います。公立がスタンダードな保育を示しているからこそ民間がそれぞれの特色を発揮できると私たち関係者は常に思っていて、上下とは思っていないんですけど、</p>

	<p>読み取り方によってはそのようにとられるんだと、私も改めて気づかせていただきました。</p>
委員	<p>◇地域子育て支援センターでは月曜から土曜まで毎日おやこ広場を開催していきまして、地域の親子に来ていただいています。まだ園に行っていない就園前の子どもさんの保護者にしても、この園に通わせたいから近くにお住まいを考えると、そういう相談もけっこうあります。なるべく早くそういう方々にもこの案を示していただいて、今後の生活の計画を立てていただけるようにしていただきたいです。8月広報にパブリックコメントのことが出ていましたが、各おやこ広場であったり、小児科や駅など、就園前の親子が立ち寄りやすい目に付くところにも置いていただきたいなと感じています。相談の中の意見で、待機児童が少ないと聞いたので泉大津に引っ越してきたのという話もありました。保育士不足で待機児童が多くなったというのもあるので、先生方が働きやすい環境を整えていただいて、保育士の確保をお願いしたいなと感じています。</p>
委員	<p>◇幼稚園などを統合して民間さんをお願いすると計画しているんですが、年度を区切った書き方をしている中で、その間に民間さんが入らなかった場合はどうするんですか。</p>
事務局	<p>◇おっしゃるように、計画通りにできませんよという問題が出てくる可能性はもちろんありますけども、いったんこの期間の中でお話として進めさせていただきたいということです。</p>
委員	<p>◇期間を完全に区切ってしまうのではなくて、この年度からスタートしますという形に変えた方がいいんじゃないかなという印象を受けました。</p>
事務局	<p>◇具体的な手法については、こうしていくことが望ましいという書き方をさせていただいているのと、11ページの④のところで見直しということで、「今後の社会情勢の変化や、子どもの人口、保護者や地域の保育ニーズの動向などにより、計画を変更する必要がある場合は、適宜見直すこととします。」と入れさせていただくことによって、今後いろんな不測の事態が起こる可能性もありますので、その辺りはより良い方向になるように変えていきたいと考えています。</p>
会長	<p>◇現時点ではこの期間中に調整する方向で考えていき、この間に大きな変化がないとは限りませんので、その際には計画の見直しというところと連動して進めていき、ご説明もいただくということでお願いします。</p>

委員	<p>◇会計年度の職員さんたちが、自分たちはもう要らなくなるのかなと不安に思っている方もいるんです。お話を聞いていたら決してそうではないと伝わるので、職員へも事務局が持っている熱意を伝えていただく機会があればいいかなと思います。保護者が悩みを直接言ってくるのは現場の職員なので、それぞれの校区でどういう話をして、保護者がどんな反応をされたのかという情報も伝えていただけたら嬉しいなと思います。</p>
委員	<p>◇いつまでも幼稚園だ保育所だ、教育だ保育だと言っている時代ではありませんので、統合してやっていくということはいいいと思います。先ほども話のあった公立と民間の違いなんですけど、まだまだ公立神話というものはあると思います。どこの自治体も多くの問題を抱えていますしお金もない。やはりここは民間とどのように連携を取って、統一的にやっていくかということが大事だと思います。民間というと、民間企業、金儲けみたいなイメージで取られますが、社会福祉の世界では金儲けのためにうまいことやってということをはほとんどの社会福祉法人は考えていません。民間企業と民間社会福祉法人というのはちょっと違うんじゃないかなと思います。市民のニーズがあるならば、そこに子どもたちがいるならば、なんとか子どもたちのために、地域社会のために事業をやっていく、そういう思いの法人がほとんどだと思います。このコロナの経済的な損失の中でも、子どもたちの将来が失われないように市と連携を取りながら民間の社会福祉法人は頑張っていていきますので、ご理解よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>◇社会福祉法人の仕事は、行政と足並みをそろえないとやっていけません。公立がいいとか社会福祉法人がだめとか、そんなレベルではないかなと思います。こども園を運営されている法人も同じだと思うんです。公立と違うのは、いつ何時つぶれるかもしれないという危機感を持っています。決して甘い考えでやってるわけではないということです。本当に子どものためにということで職員も頑張っていますので、公立の方がいいとか社福はだめとかそんなレベルの話ではないということは、ぜひご理解いただきたいと思います。子どもたちの成長を願うのはどこだって一緒なんです。だから一生懸命やっているとことだけは、社福でも公立でも一緒だということをご理解いただけたらと思います。</p>
会長	<p>◇それぞれからご意見いただいて、だいたい集約できたかと思います。文言等につきましては、差支えなければ私の方へ一任していただきまして、できるだけ皆さんの趣旨を反映した表現に変えさせていただきますが、それでよろしいでしょうか。それでは案件(1)についてはこれで検討を終わらせていただきます。</p>

会長	(2) その他 ◇案件(2)その他について、事務局からお願いします。
事務局	●今後のスケジュールについてご説明させていただきます。委員の皆さまにご意見いただきました計画案につきましては、語句等の修正を会長一任ということで進めさせていただいた後、市民の皆さまのご意見をうかがうためパブリックコメントを行います。期間につきましては、令和2年8月11日(火)から9月10日(木)までの1か月間としました。結果につきましては、集約させていただいた後に委員の皆さまにご通知させていただく予定としております。その間、8月19日(水)に開催されます教育委員会会議、8月28日(金)に開催されます厚生文教委員会協議会でのご説明を予定しております。以上です。
会長	◇案件は終了しましたので事務局へお返しします。 3. 閉会 以上